

あなたのサポートが必要な外国人がいます

問 たつせがある課
☎56-0641

「多文化共生」ってどんなこと?

「多文化共生」という言葉を聞いたことはありますか?
ざっくり言うと、お互いの文化や考え方を理解しながら、生活していくことです。

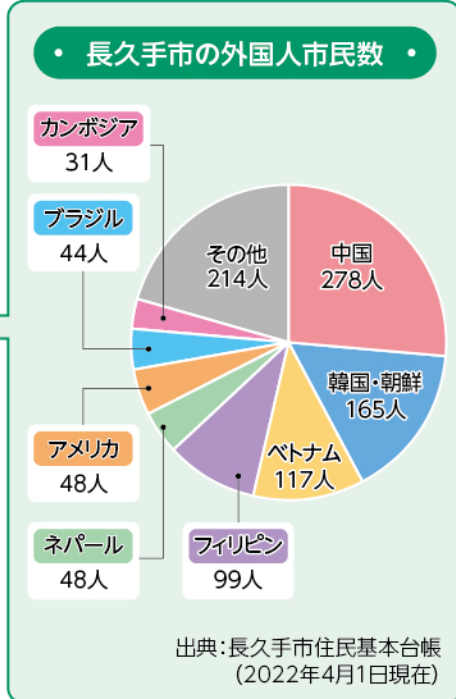
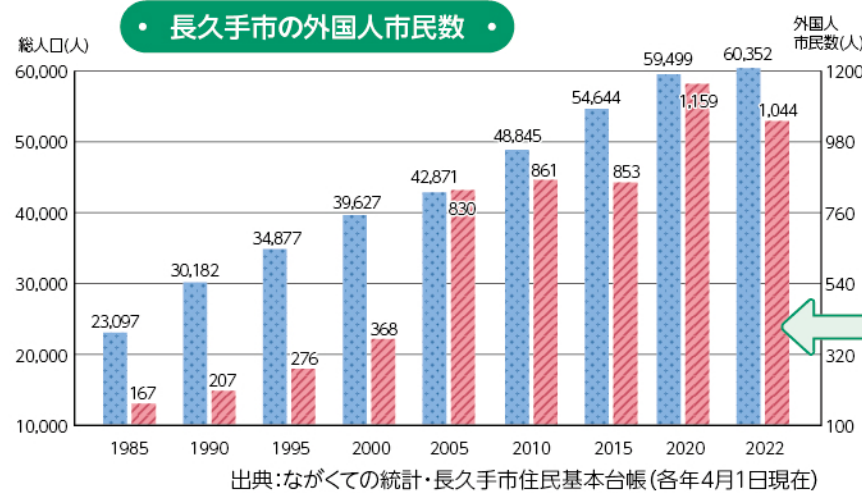
例えば…

日本では、お正月は神社やお寺に行って、比較的静かに過ごすことが多いと思います。一方、新しい年にはぎやかに迎える文化を持つ国もあります。日本では当たり前だと思うことも、他の国では当たり前ではないことがあります。もちろん日本でのルールは守らないといけません、それが他の国では当たり前ではないことを知っておくことも、多文化共生の第一歩になります。



長久手市って外国人はどれくらい住んでいるの?

本市では、約1,050人、50か国の外国人が生活しています。国籍としては、中国、韓国・朝鮮、ベトナム、フィリピンといったアジア圏の人が多く住んでいます。最近では、小中学校に在籍している外国人児童生徒の数も年々増えています。



長久手市には英語が母国語の外国人は少ないんだ。
やさしい日本語で話す方が伝わることもあるよ。

今、長久手市で
どんなことが課題になっているの?



市役所で
手続きしたいことがあるんだけど、
きちんと伝えられるかな?



日本語が
わからなくて、
学校の勉強が不安だな…

長久手市ではこんな活動でサポートしています

本市では、地域に住む外国人に向けて、長久手市国際交流協会と連携しながら、日本語を学ぶ場や市役所窓口での手続き、学校でのサポートなどを行っています。また、外国人のみなさんにも地域の一員として活躍してもらいたい!という思いから、活躍の場となるイベントも開催しています。

日本語教室

木曜日・土曜日(大人向け)、日曜日(子どもも参加可)に開催。初級者から上級者まで、子どもから大人まで、さまざまな人が学んでいます。ボランティアに資格は必要ありません。



学校日本語学習サポート

小中学校に通っている日本語に不安がある外国人の子どもに対して、国際交流協会員がサポートを行っています。やさしい日本語を使いながら、先生やクラスメイトとのコミュニケーションをつなぐ役割を担っています。



NIA集いの広場

「外国人が地域で孤立しないように、気軽に立ち寄れる場を作りたい!」という思いから、毎週土曜日にリニモテラス公益施設で開催。外国人が、母国の文化や言葉をレクチャーする「KO・TO・NO・HA Café」などを行っています。



ウクライナ避難民への生活サポート

ロシアのウクライナ侵攻により、2022年4月にウクライナ人家族が長久手市に避難し、生活しています。市役所窓口での手続きや学校での日本語サポートなど生活面の支援を行っています。



「多文化共生」の活動に参加してみてください!

他にも、長久手市国際交流協会では、さまざまな多文化共生推進に向けた取り組みを行っています。

毎週土曜日に開催している「NIA集いの広場」や国際交流フェスタなどに参加して、どんな国の、どんな人が地域に住んでいるのか知ってみてください!

活動の詳細は
長久手市国際交流
協会HPをチェック



協会
ボランティアも
募集中です!



みんなのEXPO
国際交流フェスタ
inながくて2023

3年ぶりに
対面開催!!

世界のさまざまな文化を、食・音楽・遊び・ワークショップなどを通して体感するイベントです。

時 3月4日(土)
11:00~17:00
5日(日)
10:00~16:00

場 文化の家

